

「地域がまるごと学校だったら、どんな学びができるだろう？」  
地域に思いを馳せるとき、学び舎の存在の大きさに気付きます。  
その学びの舞台が吉田地域全体だったら、何が出来るだろう？  
その夢と可能性を、地域の人々で共有したいという思いから、吉田  
地域自治振興会を中心に2023年3月に『吉田教育ビジョン』は誕生  
しました。

子どもも大人も身につけていきたい3つのチカラを「家庭」「学校」  
「地域」から育むための“思い”が『吉田教育ビジョン』です。



## 吉田教育ビジョンとアントレプレナーシップ教育

吉田教育ビジョンの「かせぐ」「よりあう」「ふみだす」という3つの言葉は、アントレプレナーシップ教育と深くつながり、それぞれの言葉は子どもたちが未来を切りひらくための力として連動し、大きな学びをつくりだします。

### かせぐ

“かせぐ”とは、単にお金を得るという意味ではありません。自分で考え、工夫し、価値を創り出す力のことです。アントレプレナーシップ教育の基本である「創造する」「課題を見つける」「価値を生み出す」というプロセスが、まさにこの言葉と重なります。

『YOSHIDA 祭』や『吉田小大収穫祭』では「働くとは何か」「人に喜ばれるとはどういうことか」を子ども達が主体的に学ぶことができました。

### よりあう

“よりあう”は、アントレプレナーシップに欠かせない協働の姿勢です。仲間と意見をかわし、地域の大人ともつながり、違う価値観を認めながら物事を進める力。起業家精神は決して“ひとりの力”ではなく、人と関わりながら挑戦する力でもあります。地域の人の温度が混ざり合う「よりあう力」を育みます。

### ふみだす

アントレプレナーシップ教育の中心には“ふみだす勇気”があります。やってみないとわからない。失敗も含めて学びになります。そうした一歩目の背中を押す力が“ふみだす”という言葉に込められています。

子どもたちが自ら企画したり、誰かに想いを伝えたりする瞬間。それが次の挑戦を呼び、さらなる学びにつながっていきます。

## 3つのキーワードが育てるもの

「かせぐ」「よりあう」「ふみだす」この3つがそろったとき、子どもたちは“自分の未来を自分で形づくる力”を育みます。

これはまさにアントレプレナーシップ教育の本質であり、吉田が目指す“地域ぐるみの学び”の姿そのものです。

吉田教育ビジョンは、子どもたちが未来に向かって、しなやかに生きていくための土台を、地域全体で育むための約束であり、吉田の未来を照らす道しるべです。